

一般質問通告書一覧

令和6年度新城市女性議会

令和7年1月20日

新城市

令和 6 年度新城市女性議会一般質問通告者順序表

令和 7 年 1 月 2 0 日（月）午前 1 0 時～

1 渥美 弓子 議員（通告時間 2 0 分）

・人口増加のための取り組みについて

2 天野 由美子 議員（通告時間 2 0 分）

・中心市街地の公共施設の活用について

3 比企 見遥 議員（通告時間 2 0 分）

・芸術文化について

女性議会一般質問通告書

氏名 渥美 弓子

テーマ	人口増加のための取り組みについて
現状・課題 提 案 事 項	私は、豊橋市、豊川市での居住を経て、夫の就農を機に３年ほど前に新城市へ移住してきました。 移住の際に、空き家バンクポータルサイトや不動産会社のサイトを利用して、空き家を探していましたが、掲載されている空き家の件数が少なく、居住先を探すのに非常に苦労しました。そんな時に、義両親がサイトに掲載されていなかった今の住宅が売物件になっていることを発見し、無事に転居することができました。 また、居住先を探す際に、市の移住ポータルサイトを拝見しました。私の現在の勤務地は豊橋で、豊橋市や豊川市での生活と変わらない生活ができる地域を新城市内で探していました。しかし、移住ポータルサイトでは、市内を１０地区に区分けして掲載されており、新城市に不慣れな私は、それぞれの場所がどのような場所で、自分にとってどこが最適な場所なのかわかりませんでした。 今後、さらに移住者が増え、にぎやかな市になってほしい願望を込め、人口増加の取り組みについて、以下の質問をします。
質 問	(1) 開発について ア 新城地区（旧新城市）の区画整理による新規の住宅地の開発や、企業団地の開発について、現在の状況を教えてください。 イ 新規の住宅地の開発や、企業団地の開発の将来の展望はありますか。 (2) 空き家について ア 現在把握されている空き家の件数と市の空き家対策及び空き家バンクポータルサイトの活用について教えてください。 イ 空き家の売却について、売却する側への助成金や奨励金を市が提案していく事は可能でしょうか。 (3) 移住ポータルサイトについて 空き家を求める方には、さまざまな方がいて、探し方もさまざまです。市内に見える方なら各地区の特性は知っているのでピンポイントで住みたい地区を探せますが、大半は私のような市外からの移住者がサイトを活用していると思います。 新城市の「魅力別」、「年代別」、「単身・世帯者別」、「物件の所在別」、「市街地派・田舎派」など、入り口が広く（カテゴリが多い）移住先を探しやすいサイトになるような工夫やリンクを追加することなどを検討できますか。

女性議会一般質問通告書

氏名 天野 由美子

テーマ	中心市街地の公共施設の活用について
現状・課題 提案事項	新城市は、美しい山々に水の綺麗な川など、風光明媚な環境にあり、また、その周辺には公園や運動場など、素晴らしい野外活動施設が整っていると感じています。新城市に転入してきた私達にとって日常というよりも訪問客が感じる行楽地に近い感覚があります。そして、仕事や学校など生活を忙しく過ごす現代人がこのような自然公園や運動施設に足を運んで運動をするという事は現実味がないのではと感じています。 また、日々の生活は市の中心部で行われていることが多く、今後も人口の集約は進んで行くものと思われます。私が以前暮らしていた市には、駅前に交流センタービルがあり、その中に市民が誰でも気軽に利用できるスポーツジムがありました。友人とFM局やカフェの前で待ち合わせをしたり、お買い物のついでに気分転換にカフェに立ち寄ったりしてよく利用していました。駅周辺は利便性が良いので、学校やお仕事帰り、お友達との待ち合わせなど、誰でも気軽に利用できるスポーツ施設が駅の近くにあることが望まれます。それと同時に市民みんなの健康意識が上がり、市が目指す「健康長寿しんしろ」実現のステップにしていけたらと思います。 人口減少が進む上で、新城市には公共施設個別施設計画があり、新たな施設に予算をかけることは難しい問題であると思います。そこで、中心街にある新城まちなみ情報センターに着目しました。その施設を活用し、市民が気軽に行ける運動施設をつくることができないかと、私は考えました。 そこで、このことについて、以下を質問します。
質 問	(1) 現在、市内にスポーツジムのような設備がある施設はありますか。 (2) 中心市街地の公共施設にスポーツジムのような設備を設置する計画はありますか。 (3) 新城駅から気軽に立ち寄れる施設として、まちなみ情報センターがあります。中心街にあり市民に広く活用されている施設であるため、今後のあり方について伺います。

女性議会一般質問通告書

氏名 比企 見遥

テーマ	芸術文化について
現状・課題 提案事項	私は、ほうらい吹奏楽団に所属し市内外で活動しています。 活動に参加する中で、私たちのように芸術活動をしている個人や団体がいるのかと疑問に思い調べました。その結果、大正琴やオカリナなどの芸術活動を行っている方や団体がいました。しかし、いつ、どこでどのような活動をしているのか、また新城音楽祭に参加しているのか、自ら演奏会を開催しているか分かりませんでした。せっかく芸術活動をしているのに、その活動が知られていないという事がとても残念だと感じました。 そこで、芸術活動をしている方々の発表できる場を作ることを提案いたします。 財政的な点では、市に頼るだけではなく、演奏会会場では市への募金箱を設置するほか、演奏会の入場料の一部を市へ寄付または募金といった形で文化事業の継続・発展のための市の歳入にしたいと考えます。 さらに活動等の広報の点では、広報ほのかだけではなく、X(旧 Twitter)、Instagram、Facebook などを活用し、この活動を広められると、新城市が有名になると考えます。 この提案により、芸術活動を行っている個人、団体が発表し、新城市に芸術活動を広げることができ、加えて寄附・募金による歳入が増加し文化事業の継続のための歳出が減少するサイクルができることで、文化・芸術活動に関して豊かなまちになると考えます。 そこで、4点質問させていただきます。
質 問	(1) 新城音楽祭など市が共催している音楽イベントの出演者枠はどう決めていますか？ (2) 市公式SNSのフォロワー数、投稿数や閲覧数はどれくらいありますか？ (3) もし、文化事業の継続・発展のために市への寄付等をしたい場合、どうすればよいでしょうか？ (4) 私が調べたところ、芸術活動者の活動状況について確固たる情報があまりありませんでした。市はどのように把握されていますか？またその情報を公表していますか？